

# 第3章 研究報告

## 1 研究体系(平成15年度)

重点目標	研究の方向	研究課題		個別課題
		(大分類)	(中分類)	
生物多様性の確保	希少動植物を始めとする自然環境の実態を総合的に把握し、生息地の保全、保護管理方策、生物多様性の確保のあり方等を研究する。	重点研究 野生生物の生態等に関する研究	里山における自然環境保全に関する研究  希少猛禽類の保全に関する研究	里山の希少動植物の保全に関する研究(継続) ツキノワグマを中心とした大型哺乳類の生態に関する研究(継続) イヌワシを中心とした希少猛禽類の保全に関する研究(継続)
環境リスクの低減	ダイオキシン類、環境ホルモンを始めとする各種化学物質の測定分析法を段階的に確立しながら、環境調査や生物モニタリングを行い、県内における化学物質による環境リスクを評価する。  地球温暖化を始めとする地球環境問題に対応するために、「地球環境から見た岩手」という広域的な視点に立った基礎研究を進める。	重点研究 化学物質リスク評価に関する研究  特別研究 地球環境に関する研究	化学物質分析法の高度化に関する研究  環境ホルモンのリスク評価に関する総合的研究  PRTR対象化学物質のリスク評価に関する研究  基礎研究 地球温暖化に関する研究  リモートセンシング利用による地球環境評価に関する研究	LC-MSによる「未規制化学物質」分析法の開発(継続) 野菜類の残留農薬分析における簡易分析法の検討(新規) バイオアッセイを用いた水環境試料中の環境ホルモンとそのリスク評価(継続) 中国工業地帯と岩手県の大気浮遊粉塵中の環境ホルモン濃度の比較及び生殖毒性との因果関係の解析(継続) 都市型小河川におけるPRTR対象化学物質等の挙動に関する調査研究(新規) 化学製造化合物perfluorooctane sulfonateの挙動と人体影響及びリスクの総合評価(継続) 化学物質による室内空気汚染に関する調査研究(継続) PRTR対象化学物質の大気中濃度拡散予測(新規) 二酸化炭素排出及び森林吸収に係る量的評価に関する研究(継続) 二酸化炭素削減対策に関するモデル評価(継続) 酸性雨による環境影響の総合的評価(新規) 広域的ヤマセ現象と岩手県の地域気象との関連解明に関する研究(継続)
資源循環型地域社会の構築	資源循環・持続可能な社会の実現に向けて、必要な環境技術・環境施策に関する研究を行う。	特別研究 新しい社会(資源循環型地域社会、持続可能な経済社会)システムを目指す環境施策に関する研究	環境浄化技術に関する研究  基礎研究	廃棄物による土壌汚染修復技術に関する研究(新規) 高機能性木炭による環境浄化に関する研究(継続) シイタケラッカーゼによる環境汚染物質分解技術の確立(新規)
生涯を通じた健康づくりの推進	県民の健康づくりを目的に、「健康いわて21プラン」に基づく健康づくり政策を市町村等関係機関とともに効果的に推進する方策等について科学的に検証する。  健康づくり関連施設を支援するため、事業評価手法を確立し、ライフステージ全てを網羅した健康の指標を明示する。	重点研究 健康水準の向上に関する総合的な研究  重点研究 保健福祉計画(保健分野)の推進支援及び事業評価に関する研究	健康いわて21プランの効果的推進に関する研究  健康水準の指標化に関する研究	いわて健康づくり政策スタンダードの提案に関する研究(継続)  ライフステージに応じた健康水準指標評価のための基礎的研究(継続)
健康危機管理体制の構築	感染症を始めとする健康を脅かす問題に的確に対応するため、危機管理体制の構築に寄与する研究を行う。	特別研究 健康危機管理システムに関する研究	感染症の病原に関する研究  基礎研究 病原体情報の活用に関する研究  食品の安全性確保に関する研究	クリプトスポリジウム及び類似の原虫類による水系感染症の発生防止に関する研究(継続) SRSVによる健康被害発生防止対策に関する研究(継続) 健康危機管理時におけるリアルタイム-PCRを用いた病原体の迅速検査法の開発(新規) 感染症による危機管理システムに関する研究(継続) 細菌性食中毒及び感染症の分子疫学的調査手法の構築に関する研究(新規) 食品に混入した異物・有害物等に対する判別・分析手法並びに危害分析・検証手法の検討(継続) 残留農薬一斉分析法による岩手県野菜類の農薬残留と安全性の検討(継続)